

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年 1月24日

協議会名: 小平町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
てんてつバス株式会社	小平町デマンドバス達布線の運行 (滝下～小平) 【車両減価償却費等国庫補助】	幹線交通である沿岸バスのダイヤ改正に伴い、デマンドバスのダイヤ改正を行った。 その際、一部の便についてバス車内での待ち時間が長いという指摘があったことから、発車時刻を調整し車内での待ち時間を短縮し、利用者ニーズに沿った取組を実施。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 年間利用実績13,000人以上という目標は、9月の台風21号及び胆振東部地震等の災害の影響があり、達成とならなかった。 一方で、平日1便あたりの利用者数6人という目標は、10人となり達成となった。 また、車輛3台を円滑に運行することができ平日1日当り運行回数6往復を維持することができた。	人口減少による利用者の減少も懸念されるが、高齢化や運転免許証の返納など、今後も公共交通の必要性は高いと見込まれる。 幹線系統の接続のためのダイヤ改正はもちろん、住民ニーズに沿って利便性向上の取組を実施していく。